



もりおかさとこ
森岡聡子議員

地域での支え合いの推進を

議員 平成30年度から始まった生活支援体制整備事業について①目的②生活支援コーディネーター、協議体等の役割③介護ポイント事業の進捗状況をたずねる。

市長 ①地域の多様な主体による多様な生活支援を行うことで、住みなれた地域で安心して住み続けることができる地域づくりを目指す②生活支援体制の提供体制を推進する中心的な役割が生活支援コーディネーター。第1層協議体は、市全体の情報共有や課題解決から必要な社会資源を探したり、つくったりする役割を担う。第2層協議体は、日常的な協議や地域のルールづくりを行う③7月から実施する養成講座には31名の受講希望をいただいている。

女性が働きやすい環境づくりを

議員 女性の就労支援の取組みについて①地元への就職支援策②女性消防団、消防士、農業女子等の現状をたずねる。



市長 ①井笠地域大学等就職面接会や、高校三年生を対象に就職ガイダンス・いかさを開催したり、市民が学校卒業後3年以内に市内に就職した場合、雇用奨励金を交付している②現在、女性団員は19名、女性消防士は3名おり、働きやすい環境整備として各消防署の出張所に女性用の施設整備をしていく。また、地域の防災リーダー育成のための防災士の資格取得者44名の内、女性が11名いる。農林漁業分野では、市の独自策として奨励金の交付等を行っている。



みたに わたる
三谷 渡議員

神島保育所の認定こども園化の取り組み状況は

議員 神島保育所の認定こども園化に向けた取組状況についてたずねる。

こども部長 神島保育所が目指す幼・保連携型認定こども園には幼稚園教諭と保育士の両免許資格が必要で、資格保有者が100%となるよう、早期に取得を促したい。認定こども園化後には、子育て相談や情報提供を通して、地域における子育て支援の拠点として、在園児童だけでなく未就園児とその保護者が気軽に集い、交流できる場として開放したい。

名称については、公募も考えており、これからの笠岡市の幼児教育・保育施設のモデルとなるよう、床暖房設備等、他に誇れるような認定こども園に向け努めたい。

干拓地内南端エリア（仮称）の有効利用を問う

議員 笠岡干拓地内旧神島海岸線県道沿いの南端エリア（仮称）の有効利用についてたずねる。



市長 南端エリア約27ヘクタールは一部が耕作不適地となっているが、一番西側の一部に県と市で盛り土を行っており、今後は東側にも盛り土を実施し、農地として利用できるようにする予定としている。

南端エリアは港町工業団地に近く、将来には2号線バイパスや篠坂インターチェンジも期待され、非常に利便性の高い場所である。南端エリア構想があってもおかしくないが、現在は、農業振興を目的とした農業関連としての土地活用以外選択肢はなく、県と相談しながら、農地を活用していただくことを第一義として取り組みたい。